

### 附属品取附装置

実 願 昭 38—9 6 5 6 1  
出 願 日 昭 38. 12. 25  
考 案 者 柳沢明  
東京都足立区梅島町1ペトリカメ  
ラ株式会社内  
出 願 人 ペトリカメラ株式会社  
東京都足立区梅島町1  
代 表 者 栗林繁代

### 図面の簡単な説明

第1図は本考案要部を示めず側面図、第2図は写真機に於ける本案取附部を示めず正面図、第3図は本案装置を示めず要部背面図。

### 考案の詳細な説明

本考案は写真機に露出計等の附属品取附装置に関するものである。

従来周知の附属品取附装置は簡単な方法として挿込み式が多用されているが、取附足と取附座に設けられる嵌合部は高度の精密性が要求されると共に、固着させる圧着バネの強弱によつては取附上の不安感をはなはだしく阻害するもので不用意に触れたりする事により、外れたり、装着位置がづれたりする危険性がある。又、附属品を完全に装着するため締付式が採用されているが着脱操作が複雑でわづらわしい欠点があり、設けられた取附座等により、写真機本体の外観をそこなわす事にもなる。

しかるに本案に於いてはわづかの部品により、装着の安定性と着脱操作の簡易を計り上記欠点を完全に除去せんとするものである。

本考案の実施例を説明すると1は装着される露出計で該露出計本体に設けられた溝部2には取附レバー3が嵌入し左右方向に摺動自在に取附板4により挟着されており該取附板4の立起片5と取附レバー3の溝6間には発条7が挿入され該取附レバー3は第3図に於いて常時左方向の作動習性が与えられており、曲面8を持つ鉤部9は写真機本体10に固植された2個の突子11と系合する。

該突子11には取附板4の材厚に相当する溝12が

設けられてあり、取附板4の投部13を有する平行面14は2本の突子11の間に取附板4が一方方向から挿入される様設けられ更に取附板4にはゴム状の軟質の材料で作られた、固定突子15が固着されている。

従つて本考案装置を有する附属品を写真機本体に装着する場合写真機本体1の突子11の溝12に取附板4を装入すると該突子11が取附板レバー3の鉤部9の曲面8に衝合し該取附レバー3が発条7に抗して作動し取附レバー3の投部13に該突子11が系合に位置づけると共に、該取附レバー3鉤部9は発条7の張力により突子11を系止し、完全にロックされるものである。取附板4は2本の突子17の溝12間に嵌入し突子14が写真機本体の平坦面に接しているため該取附板4の前後左右のユレ、ガタは全く生じない離脱させるには取附レバー3を押圧して突子11と該取附レバー3の系合を外し上方に引上げる事により安易に離脱させる事が出来るものである。

かくの如く本実用新案は写真機本体の外観上にデザインの価値を害する取附座等の部材を数多く配設する必要もなく写真機本体の平坦面に二本の突子を設けることにより、任意の場所に露出計等装着出来る様にするもので着脱操作は極めて安易で確実にしかも安定して装着出来るものであり、露出計がフォーカルプレーンシャッターの速度ダイヤルに連動する場合に於いても高度の位置的精度が得られ更に本案実施例に上げた露出計に係わらず装着位置精度を必要とするファインダー及び距離計又は発光器等にも、本考案装置を配設することにより容易にその目的を達するもので実用上極めて有益である。

### 実用新案登録請求の範囲

図に示めず如く写真機本体に溝部12を有する二本の突子11を固植し附属品に固着された取附板4の段部13を有する平行面14を2本の該突子11間の溝部12に嵌入し該取附板4に挟持された取附レバー3の鉤部9は発条7の蓄勢により該突子11に系合させる如く構成し該取附板4に固着せる突子14の面が取附平面部と接合する如くした附属品取附装置の構造。

